



2023-1号
令和5年2月

発行所 独立行政法人 国立病院機構 西別府病院
住 所 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見4548番地
TEL 0977-24-1221(代表)
FAX 0977-26-1163(代表) 0977-76-7231(連携室)
ホームページアドレス [http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)



謹賀新年

日の出（大分県竹田市久住町）
（撮影者：田辺俊介）

目次

新年のご挨拶	2	1月の行事食の紹介	8
着任のご挨拶	4	成人式(二十歳のお祝い)を実施しました	9
学会でのベストポスター賞受賞について	4	人事異動	9
療養介護のパンフレット作成に向けて	5	外来診療担当表	10
「看護部人材確保プロジェクト」発足しました！！	6	ボランティア募集	10
クリスマス会～聖なるクリスマスフェスタ2022～	7		

理 念 私たちは、常に研鑽し、患者さまのために最良の医療を提供します

基本方針 1. 患者中心の医療 2. 患者の権利と尊厳を守る 3. 政策医療の推進 4. 地域医療への貢献
5. 最良・安全医療の提供 6. チーム医療の推進 7. 経営基盤の確立

患者さまの権利 1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利 2. 十分な説明を受け、質問する権利
3. 自分で医療の内容を決定する権利 4. プライバシーを保護される権利
5. カルテ開示を受ける権利 6. セカンドオピニオンを受ける権利 7. 臨床研究への参加と拒否の権利



日本医療機能評価機構
認定番号: JCI1505号

新年のご挨拶

院長
後藤 一也



謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚誼を賜り、誠に有難うございました。

西別府病院は令和4年4月から、増築した東病棟に病棟を集約・再編して、セーフティーネット系医療により特化した病床運用に変更しました。人工呼吸器の稼働台数が常時100台を超えるなど医療度、看護度がより高度化するなかで、病床利用率の低下など厳しい集約・再編初年度となっています。一方で、ユニット化した結核病床の運用につきましては、大分県や関係医療機関との連携や当院関係職員、結核診療支援センターの取り組みによりユニット化の今後の見通しが立ったように思います。

新型コロナウイルス感染症につきましては、当院においても2回のクラスターが発生し、オミクロン変異株の感染力の強さを実感させられる機会となりました。第8波への対応では、感染持ち込み防止の限りとともに、改めて標準予防策の徹底など伝播防止、拡大防止の重要性を強く認識しました。

令和4年度も第4四半期を残すばかりとなりました。集約・再編という大きな転換点から今後の10年、20年に向けての歩みだしにつながるためにも、今年度の7つの病院目標について、到達点に近づけなければならないと考えています。

以上の心構えを職員と共有して、職員一丸となって課題解決に向けて取り組んで参る所存です。

令和5年が皆様にとって、より良い1年となることを心よりお祈りするとともに、これからも当院へのご支援、ご指導を引き続き賜りますことをお願い申し上げます。私の新年のご挨拶とします。

令和5年元旦

新年のご挨拶

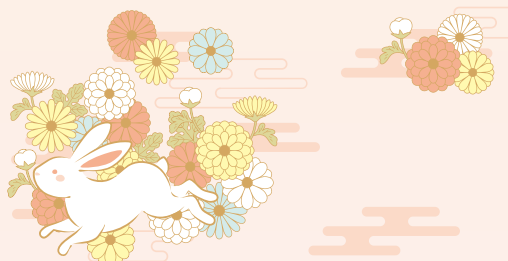
副院長
原 政 英



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和4年も新型コロナ対応に明け暮れた年となりました。1～3月に第6波、7～9月には第7波が、そして11月には第8波の流行が始まり現在も猛威を振るっています。当院では昨年までに職員だけでも延べ約1,700回分のコロナワクチン接種を実施してきました。幸いにもCOVID-19罹患後に重症化した職員はなく、ワクチンの効果を実感しております。しかしながら、欠勤者の増加は免れず病院業務は逼迫していると言わざるをえません。

昨年4月には、これまで一般医療と結核医療を担ってきた中2・中4病棟が閉鎖され、増築病棟へ移転することで病棟が集約されました。このような変動期にあたり、当院の重要な使命であるセーフティーネット医療を安全に維持していくためには、より質の高い医療の提供とチーム医療の実践が求められます。令和5年は職種間の連携をさらに良好なものとし、医療安全管理の視点から最良かつ安全な医療が提供できるよう努めてまいります。本年も変わらぬご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶

事務部長

清水 就人



新年あけましておめでとうございます。

令和4年度も残すところ3ヵ月となりました。新型コロナウイルス感染症も1月15日で国内新規発生から3年を経過しますが、現在、第8波の流行期に入り、気を抜けない状況が続いています。当院も年末に、クラスターが発生したことで、年末年始であってもゆっくりと過ごすことができなかつた職員も数多くおられます。ご対応いただいた職員におかれましては、厚く御礼申し上げます。

昨年は、病棟再編を行い、結核病床については、今年3月まで12床運用、4月より10床運用とする計画でした。しかし、大分県内の結核患者の発生状況を鑑みて、4月以降も当面12床運用を継続することが、12月に開催された大分県結核医療体制調整会議で決定しました。これに伴い、安定した環境下での12床

運用を図るため、東1病棟Eの病床数を本来の10床とし、東1病棟本体に1床室の結核病床2室を設置する工事の手続きを令和6年1月上旬竣工予定で進めているところです。つきましては、工事完成までは、現在の病室運用で結核診療を行ってまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

その他、令和5年の大きな動きとしては、1月下旬から令和6年11月の病院情報システムの更新に向けて、(株)メディカルエージェンシーによる現場へのヒアリングが開始されます。2月からは、勤務時間システムの本格稼働が順次開始し、4月1日には全部署において稼働する計画です。4月からは、院内保育所の委託業者が、(株)テノ・サポートからさくらグループ(株)へ変更となります。そして、昨年はゼロ採用だった念願の新人看護師が入ってきます。

新型コロナウイルス感染症の先行きと同じく、当院の経常収支も厳しいところではありますが、令和5年は、卯の年です。西別府病院にとって、飛び跳ねて喜べる年となるよう、職員一同一丸となって頑張っていきたいと思います。どうぞ、本年もよろしく願いいたします。

新年のご挨拶

看護部長

竹之内須賀子



新年あけましておめでとうございます。

世の中は、少しずつCOVID-19への対応も変化ははじめ、行動制限のない年末年始となりました。しかし、医療現場では、気を緩めることのできない日々が続いております。当院も年末に2度目のクラスター発生があり、多職種で協力しながらCOVID-19に立ち向かっております。その中で、看護職員の皆様には患者さんに寄り添い献身的にケアにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年の干支は「癸卯」(みづのと・う)です。「癸」は十干の最後にあたり、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味するようです。そして、十二支の「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。

昨年は、当院でもCOVID-19のクラスターを経験し、協力して乗り越えることができました。経験としての学びはありましたが、同時に多くの課題も明確になり、その対策に現在も取り組んでいます。年は明けましたが、COVID-19との戦いは、もう少し続きそうです。しかし、4月には5類相当への変更も予定されています。アフターコロナというよりは、Withコロナ(With感染症)が定着するといった感じになるのではないかと考えています。感染対策はあたりまえであり、次の新興感染症にも備える年になるのだと思います。

そして、これからは大分県の地域医療構想を踏まえ、西別府病院が地域から求められる医療の提供ができるように、成長していく必要があります。看護部も地域の人々が「安心でき、信頼に応える質の高い看護の提供」に努める必要があります。看護の専門性を高めるとともに、対象である「人」に対しぬくもりのある支援の充実を図っていきます。まずは新たな芽をはぐくむ基盤づくりから整えていきたいと考えています。まだまだ、問題は山積していますが、ぴょんぴょんとクリアし、この1年を共に進んでいきましょう！皆様にとって幸多き年であることを心よりお祈り申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

着任のご挨拶



呼吸器内科医師
渡邊 絵里奈



10月より西別府病院の呼吸器内科に赴任いたしました、渡邊絵里奈と申します。川崎医科大学出身ですが、地元が別府市であり、卒後は大分県に戻って参りました。大分県立病院で初期臨床研修を終え、大分大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科学講座に入局いたしました。その後は大分県立病院、大分大学医学部附属病院での勤務を経て、このたび西別府病院へ配属となりました。昨年度まで、産休、育休と2年間休職しており、今年度より復職し、慌ただしい毎日を過ごしております。

半年と短い期間ではありますが、西別府病院では、主に結核患者さんを診療させていただきます。これまでは呼吸器疾患として気管支喘息、COPD、細菌性肺炎、間質性肺炎、肺癌などを診療することが多く、結核患者さんを診療する機会はあまりありませんでした。超高齢社会において結核はまだまだなくなる疾患者であり、感染症の観点からも重要な疾患であると思います。皆様のお役に立てますよう精進してまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

学会でのベストポスター賞受賞 について



副看護師長 高橋 亮

令和4年10月7日(金)、8日(土)に熊本で開催されました、第76回国立病院総合医学会に参加してきました。今回、私は「看護・医療安全」の部門において、「慢性期病院での責任ある人工呼吸器日常点検への取り組みの検証」という演題でポスター発表を行い、ベストポスター賞をいただくことができました。取り組み内容として、常時100台以上の人工呼吸器が稼働している当院において、安全な人工呼吸器日常点検が行えているか現状を明らかにするため、日常点検方法の他者評価、人工呼吸器関連のヒヤリ・ハット内容の調査を行い、確実な実施ができるように人工呼吸器設定確認頻度や点検環境の見直しを行ったことについて発

表しました。今後も日常点検方法の他者評価を継続し、さらには学習会の開催、人工呼吸器関連のヒヤリ・ハット事例の検討、呼吸器チェック方法の検討を行い、安全で確実な人工呼吸器管理に努めていきます。

学会への参加を通して、ポスター作成時のわかりやすい情報のまとめ方、レイアウトなど、デザイン方法について学ぶことができました。また、他施設の方より直接質問を受けて意見交換することができ、各施設によってのアプローチ方法や考え方、評価方法などについて新たな学びの機会ともなりました。

最後になりましたが、今回の発表にあたりご協力、ご助言いただいたすべての方に感謝申し上げます。

療養介護のパフレット作成に向けて

地域医療連携室 経営企画室 障害福祉事業専門員

地域医療連携室による連携強化活動の一環として、県内の医療機関を訪問した際、訪問先の医療機関から「療養介護と一般入院の違いがわかりにくい」、「どんな患者が対象になるのか?」、「療養介護で受けられるサービスがわからない」などご意見があり、療養介護事業が十分理解されていないことが見えてきました。

そこで、広く療養介護を知ってもらえるように、他部署と連携して、福祉の視点を重視した療養介護サービスの申請手続きや、費用負担、生活（活動）スケジュールを載せたパンフレットを作成しました。

今回作成したパンフレットをもとに、地域医療連携室の「地域や関係機関のニーズを拾い上げた目線」、障害福祉事業専門員の「療養介護（障害福祉サービス）の特色と良さを伝える目線」、経営企画室の「西別府病院の強みを分析した目線」で、医療や看護の特色も取り入れた療養介護を紹介できる総合的なパンフレットに発展させていきたいと思っております。



療養介護のご案内

病院等への長期入院による医療的ケアに加え、常時の介護を必要とする障害者の方をサポートします。

障害福祉について

支援するスタッフは、医療、福祉、介護の専門家チームです。

患者さんを中心に、多職種がチームを作り、患者さんの生活の質(QOL)が向上するよう支援します。

医師、看護師、サービス管理責任者、生活支援員(介護福祉士)など



個人に合わせたサービスを計画します。

患者さんの状況や、ご希望に合わせてサービス内容を決定し、個別支援計画を作成していきます。

入所対象者

- 1) 障害支援区分6に該当し、気管切開に伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている方。
- 2) 障害支援区分5以上に該当し、次の1から4のいずれかに該当する方。
 - (1) 重症心身障がい者又は進行性筋萎縮症患者の方。
 - (2) 医療的ケアの判定スコアが16点以上の方。
 - (3) 障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等(12項目)の合計点数が10点以上の方で、医療的ケアの判定スコアが8点以上の方。
 - (4) 遷延性意識障害者であって、医療的ケアの判定スコアが8点以上の方。
- 3) 1)および2)に準じる者として市町村が認めた方。

毎日の生活 (おおまかな一日の流れ)

6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温、処置
10:30	日中活動、行事等
12:00	昼食
14:00	日中活動、行事等
17:00	夕食
21:00	消灯

個別支援計画に基づいた支援を行います。



「看護部人材確保プロジェクト」発足しました!!

教育担当看護師長 平野美幸

教育担当看護師長となり、まもなく丸3年が経とうとしています。これまで、人材確保につながる活動として、ホームページの見直し・更新を目的とした検討チームを立ち上げ、学生に興味をもって見てもらえるような、看護部のことを具体的に知ってもらえるような内容の充実に取り組み、看護職員の採用に向けて広報活動を進めてきました。

しかし、今年度実施した看護職員採用試験においては応募者数が減少しており、人材確保は厳しい状況にあります。当院のような慢性期病院、特にセーフティーネット系の医療は新採用者の関心が低い傾向にあります。それに加え、コロナの影響により、臨地実習の中止・制限や病院見学会の中止などを余儀なくされ、学生と直接ふれあう機会や、学生に当院の看護を知ってもらう機会が激減しました。優秀な人材の確保を効果的に行うためには、新しい世代に響くことを企画・運営することが必要であり、その活動を推進するために、私の他、副看護師長3名、看護師(2~7年目)6名で構成された「看護部人材確保プロジェクト」が発足しました。

活動の内容は、①ホームページのリニューアル、②看護職員募集のパンフレット作成、③就職説明会の企画・運営、④病院見学・インターンシップの企画・実施、⑤新採用者歓迎プレゼン、⑥つなぐ(採用合格者への季節・時期に応じたメッセージカード作成・送付)、⑦つなぐ(育児休業中看護師へのメッセージ)、⑧実習生控え室のレイアウト充実…など、活動の内容は多岐に渡ります。11月21日にキックオフミーティングを行い、参加したメンバーからは「ワクワクしました。」「自分にも病院のためになることができると嬉しい。」という言葉が聞かれ、私も嬉しくなりました。

最初の活動は、「つなぐ」ことでした。採用合格者12名、育児休業中看護師24名へのクリスマスカードの作成・送付でした。採用合格者へはプロジェクトのメンバーに、育児休業中看護師へは所属していた部署での作成をお願いしました。短期間ではありましたが、どの部署も、趣向を凝らした心温まる素敵なクリスマスカードができ、無事12月21日に投函することができました。急なお願いにもかかわらず、ご協力頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

現在は、コロナの影響で過去2年間、WEB形式で行われていた国立病院機構九州グループの看護職員就職説明会が、「対面式」で実施されることが決定し、2月から始まるその準備に取り組んでいます。就職説明会は、当院の看護の特徴から実践している看護の素晴らしさ・やりがいを伝え、当院のことを知らない学生にも知ってもらい、優秀な人材を確保するための絶好の機会です。当院のことを知ってもらうためには「西別府病院のブースに行ってみよう」「話を聞いてみよう」という気持ちになってもらうこと、興味・関心が持てるような趣向が必要です。プロジェクトメンバーは、病棟業務となると自信のなさや周囲への遠慮から、自ら率先して発言することや自分の考えを伝えることを苦手とする年代ですが、若いからこそその発想、学生目線でのアイデアがたくさん出てきています。そのアイデアに触発され、「こんなのもありかな?」「だったらこういうのがあるといいよね?」と、私もワクワクしながら(時期的には次年度の教育計画や新採用者を迎える準備で慌ただしく焦りもあるのですが…)商品カタログを見て、必要物品の準備に取りかかっています。

4月以降は、日本文理大学工学部情報メディア学科のみなさんに動画撮影にご協力頂けることも決定しています。このプロジェクトの活動を通して、「人と人(病院と職員)との縁・つながり」を大切にしていきたいと思っています。職員の皆様、今後とも様々な活動に対するご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。



プロジェクトメンバー

就職説明会に向けた活動の様子



作成したクリスマスカード★★★★★



採用合格者向け



育児休業中看護師向け

クリスマス会

～聖なるクリスマスフェスタ2022～

保育士 神鳥由香

東1～5病棟（一般病床除く）において、今年もクリスマス会が行われました。日程は12月13日（東2病棟）、14日（東3病棟、東5病棟）、15日（東4病棟）、16日（東1病棟）でした。テーマは「聖なるクリスマス2022」。今年度も新型コロナウイルス流行の影響で、感染対応に注意を払い例年とは異なり、少人数の療育指導室のスタッフと各病棟スタッフ、多職種での取り組みとなりました。

東1・2・5病棟では、一同に集まることが出来ないため、各部屋で楽しめるように工夫をしました。少人数での会ではありましたが、イルミネーションの点灯式では、イルミネーションの光に笑顔を見せる方、光の点滅をうっとりとした表情で見ている方などがおり、その表情にスタッフもほっこりさせていただきました。

1人1人に心をこめてクリスマスプレゼントをお渡しすると、「ありがとう」と笑顔で言われる姿、プレゼントを見て、「わあー可愛い」と喜ばれる姿、自分からプレゼントに手を出し喜ぶ様子などが見ることが出来ました。

Dr.がサンタに変装しプレゼントを渡す時に気づき、驚く様子なども見ることができ印象的でした。嬉しそうにしている様子を見るたび、スタッフとしてはクリスマス会が出来たことに感謝がこみ上げてきました。

東3・4病棟は、各部屋でのクリスマス会に加え、少人数で病棟プレイルームへ集まり行うことが出来ました。キラキラ光るイルミネーションに触れようと手を伸ばす姿や、プレゼントを受け取り満面の笑顔が見られました。また、クリスマスカードに込められた受持ち看護師からのメッセージとプレゼントに、嬉しそうなお表情もたくさん見られました。

利用者さん・医師・病棟スタッフ・リハビリスタッフ・療育指導室の職員と温かく優しい時間を共有することができ嬉しく思います。

このように行事が行われた背景には、多くの多職種との連携があったからと実感しています。ご尽力、心より感謝いたします。



※写真の掲載には、患者様の許可をいただいております



1月の行事食の紹介

栄養管理室長 佐藤 恭子

毎月、祝日や季節の行事に合わせて普段のメニューとはちょっと違う行事食を提供しています。

その中でも特に12月から1月にかけては、栄養管理室が最も忙しくなる時期です。毎年10月頃よりメニューを考えるとこから正月料理の準備が始まります。昨年の問題点などを確認し、前年よりも更に良いもの、患者さんに喜んで頂けるものを提供しようと毎年取り組んでいます。

行事食の内容ですが、まず、三が日はお正月らしい祝い肴やお雑煮、おせち料理。その次は、七草がゆ、鏡開きのぜんざいと続きます。おせち料理は、普通食だけでなく、易咀嚼食など柔らかい形態のお食事でも柔らかい食材を使って安全に食べて頂けるよう工夫しています。

提供後、患者さんへ感想を伺うと、おせち料理については「少しずつ色々なものが食べられてよかった」等、うれしいご意見も頂きました。

写真はその一部ですが、患者さんに少しでも季節を感じ、楽しんで頂ける様な食事を今後も提供できるよう努力して参ります。



成人式(二十歳のお祝い)を実施しました

主任児童指導員 大野 淳子

新型コロナウイルス感染症の流行により様々な行事が中止や各病棟ごとの縮小実施が続いているなか、今年度の成人式について検討していたところ、院長から「一生に1度の晴れの日を少しでも盛大にお祝いできないか。」と話があり、感染対策チームと相談しながら合同での開催に向けて準備を行い、令和5年1月18日、3年ぶりに合同で成人式を行うことができました。

ご家族に最初に成人式のお声掛けをしたときには、活動や面会の制限をしている中、どのような式になるのかと戸惑いの声も聞かれましたが、日にちが近づくにつれ袴やスーツ、着物を準備したとのご連絡をいただき、心待ちにされている様子が伝わってきました。

久しぶりに病棟外に出て、普段とは違う畏まった雰囲気となるため、ご本人たちが緊張されるのではと心配しましたが、しっかりと前を向き、凛々しい姿で式に臨まれていました。

成人式への参列は、ご家族と少数の病院職員となりましたが、それぞれの利用者の出身の市長、特別支援学校、当院の重症心身障害児者親の会から心のこもった祝辞をいただきました。また、利用者の皆さんからのくす玉のプレゼントをお一人ずつ割っていただくなど、たくさんの方が新たな門出をお祝いしていただいていることが感じられるなごやかな式となりました。

式後、ご家族や参列者からは「久しぶりに家族全員で集まりました」「素敵な式だった。」と言っていました。

これからも利用者の皆さんが少しでも充実した日々を過ごしていただけるよう、支援していきたいと思えます。



※写真の掲載には、患者様の許可をいただいております



独立行政法人 国立病院機構
西別府病院

ホームページは
こちらから →

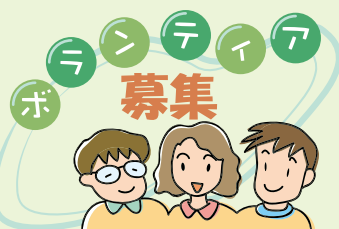


外来診療担当表

令和5年2月1日現在

	月	火	水	木	金	備考
呼吸器科	(新)河野 瀧川	(新)中野	(新)瀧川 河野	(新)大津 中野	(新)渡邊 大津 河野	(新)は新患担当医
循環器科	宮崎	麻生	原	宮崎	麻生	
(生活習慣病改善外来)	宮崎	麻生	原	宮崎	麻生	9:00~12:00 予約制
消化器科	城内	城内	城内	城内 (午後のみ)	城内	
神経内科	後藤(勝)	中村(憲)	後藤(勝)	中村(憲)	片山	
小児科	後藤(一) 植村 植田	今井 内山	平松 後藤(一) 植田	平松 後藤(一) 植村	今井 内山	要電話予約
小児精神科	—	有馬	有馬	有馬(午前のみ) 非常勤医師 (第3木曜日)	有馬	要電話予約
一般外科	唐原	唐原	唐原	唐原 (再来のみ)	唐原	
脳神経外科	佐古田 (脳卒中予防、 頭痛を含む)	—	—	佐古田 (脳卒中予防、 頭痛を含む)	—	
生殖・遺伝科	松田	松田	松田	松田	松田	予約制(HPから)
	—	—	女性診療・女性医師 14:00~16:00	—	—	
頭痛外来	後藤(勝)	中村(憲)	後藤(勝)	中村(憲)	片山	
睡眠時 無呼吸外来	宮崎	麻生	—	宮崎	麻生	他の曜日は要相談 要電話予約
セカンドオピニオン	後藤(勝) <神経内科>、その他内科など					要電話予約
スポーツ医学 センター	松田	松田	松田	松田	—	完全予約制 要電話予約
九州リンパ浮腫 センター	唐原	唐原	唐原	—	唐原	予約制

受付時間 午前8時30分~午前11時 (ただし急患につきましてはこの限りではありません)



患者さまへのサービスをより細やかに、地域に貢献する病院をめざし、より信頼される医療を行うために、西別府病院は病院ボランティアを募集しています。

詳しくは当院ホームページ ([http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)) をご参照願います。